



第36代理事長
福田康男

副理事長

吉澤 俊文
和田 克己
川島 孝夫
篠原 住夫
榎本 智彦

専務理事

長竹 正宏

事務局長

矢澤 久雄

アメニティ委員長

須永 浩吉

フレンドシップ委員長

稲葉 好聡

ヒューマニティ委員長

江原 弘義

経営開発委員長

内藤 敬

両毛未来委員長

松村 毅

文化財パトロール隊長

品田 博司

マラソン特設委員長

細見 明夫

35周年実行委員長

田辺 博昭

監事

田野 雅己

日下部 敦

高橋 健一

夢をかたちに ハイ・Action 創ろう未来の足利を!

スローガン

○会員数 103名
○年会費 100,000円

バブル経済の崩壊後、今後が不透明な時代に入りつつあった当時、そんな時だからこそ夢を語り、夢に向かって突き進む勢いがあった。創立35周年という冠のもとに会員が一丸となりひとつのものを達成する努力と喜びを感じ取った年でもあった。感謝の意を込めた35周年記念式典も多くの方々に出席していただき、会員も誠意を込めて、また、楽しみながら和やかに開催することができた。

また、文化財パトロール隊やマラソン大会の継続事業はもとより、35周年記念事業として新しい運動展開を積極的に行った。特に、中橋付近にそびえ立つ4本のヒマラヤ杉に足利市民の願いを織り秘めた光の短冊を散りばめた「七タイルミネーション〜星に願いを〜」では苦勞・苦勞の連続であったが、イルミネーションが点灯した時の喜びは格別のものであった。



足利JCの主な出来事

- ◆35周年記念式典開催
- ◆記念事業「七タイルミネーション〜星に願いを〜」市民実行委員会組織による実施
- ◆日本青年会議所直前会頭西村予史男君 早朝講師例会
- ◆「NEOPOLIS両毛」リーフレット発行
- ◆「老人や子供と遊ぼう」
- ◆MIA勉強会
- ◆田中清美君、日本JC国際貢献推進会議 議長となる
- ◆さわやか健康マラソン大会・尊氏公マラソン
- ◆日本JC会員数史上最高の67,000名に達する

足利市の主な出来事

- ◆太平記館が開館
- ◆足利の夕景を歌った『渡良瀬橋』がヒット
- ◆南部・中川浄水場が完成
- ◆国道50号の4車線化が完成
- ◆斎場の式場棟など増設
- ◆公害防止に重点を置いた東部クリーンセンター 足利が完成
- ◆全国高等学校総合体育大会でレスリング競技などを開催
- ◆消防本部に地震計を設置
- ◆毛野東部工業団地に足利金属団地が完成・操業開始



全国高等学校総合体育大会が開催



美術館つきの住宅
「中橋ハイツ」が完成

この年の代表的なニュース

- ◆皇太子様、小和田雅子さんとご成婚
- ◆細川連立内閣発足ー「55年体制」崩壊
- ◆北海道南西沖地震、奥尻島などで被害
- ◆金丸元自民党副総裁を脱税容疑で逮捕
- ◆ゼネコン汚職
- ◆サッカーJリーグ開幕
- ◆冷夏でコメ不足
- ☆流行語
「ブルセラ」、「コギャル」、「清貧」
- ☆流行歌
・YAH YAH YAH (CHAGE&ASKA)
・無言坂(香西かおり)
・鳥唄(THE BOOM)
・ロマンスの神様(広瀬香美)
・ロード(THE虎舞竜)